

科目名		授業形態	担当教員名	
生化学・口腔生化学		講義	長谷川 菜摘	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
人体の生命現象を分子レベルの化学反応から理解するために、人体の代謝と機能に関する基本的知識を習得する。 口腔における生命現象を分子レベルの化学反応から理解するために、口腔における物質の代謝と機能に関する基本的知識を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 生体の構成要素を説明できる。 2. 生体における化学反応を説明できる。 3. エネルギー代謝を説明できる。 4. 物質の代謝を説明できる。		5. 歯と歯周組織の生化学を理解する。 6. 硬組織の生化学を理解する。 7. 唾液の生化学を理解する。 8. デンタルプラークの生化学を理解する。		
授業計画				
回	内容			
1	人体の構成要素			
2	人体における化学反応			
3	糖質の代謝			
4	脂質の代謝			
5	タンパク質とアミノ酸の代謝			
6	歯と歯周組織の生化学			
7	硬組織の生化学			
8	唾液の生化学			
9	プラークの生化学：プラークの生物活性とう歯			
10	プラークの生化学②：プラークによる歯周疾患発症機構			
11	栄養の基礎知識			
12	食事摂取基準			
13	栄養素の働き			
14	食生活と健康			
15	食べ物と健康			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	60%	基本的知識の習得度とともに知識を基盤にした応用能力を判定し、総合的に評価する。		
レポート・課題				
小テスト	30%	講義内容の理解度を評価する。		
平常点	10%	授業への取り組み度を評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能3 栄養学		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				